

特集展示 新たに修理された文化財

Thematic Exhibition from the Permanent Collection
Newly Conserved Cultural Properties

展示趣旨

長い歴史を経て今に伝わる文化財は、その多くが過去に人の手による修理を受けながら大切に保存されてきたものです。これらの文化財をさらに未来へと継承していくために、当館では、彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の各分野の収蔵品（館蔵品・寄託品）について、毎年度計画的に修理を実施しています。

本特集展示では、前年度までに修理された文化財の中から選りすぐった文化財を展示公開するとともに、その修理内容についてパネルでご紹介いたします。

開催概要

展覧会名	特集展示 新たに修理された文化財
会 期	令和6年（2024）12月17日（火）～令和7年（2025）1月13日（月・祝）
会 場	奈良国立博物館 西新館
開館時間	午前9時30分～午後5時 ※12月17日（火）は午後7時まで。 ※入館は閉館の30分前まで。
休 館 日	毎週月曜日、12月28日（土）～1月1日（水） ※ただし1月13日（月・祝）は開館。
観覧料金	一般 700円 大学生 350円 ※ 高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライロID（スマートフォン向け障害者手帳アプリ）をお持ちの方（介護者1名を含む）は観覧無料。 ※ 高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される場合、子ども1名につき、同伴者2名まで一般100円引き、大学生50円引き。 ※ この観覧料金で、特別陳列「東大寺伝来の伎楽面—春日人万呂と基永師一」（なら仏像館～12月22日〈日〉）、特別陳列「春日若宮おん祭の信仰と美術」（東新館）、名品展「珠玉の仏教美術」（西新館）・「珠玉の仏たち」（なら仏像館）・「中国古代青銅器」（青銅器館）をあわせてご覧いただけます。
出陳件数	11件（別紙参照）
主 催	奈良国立博物館
特別支援	DMG森精機

PRESS RELEASE



ふどうみょうおう にどうじりゅうぞう
不動明王および二童子立像

不動明王：木造 彩色・截金 矜羯羅童子・制吒迦童子：木造 古色

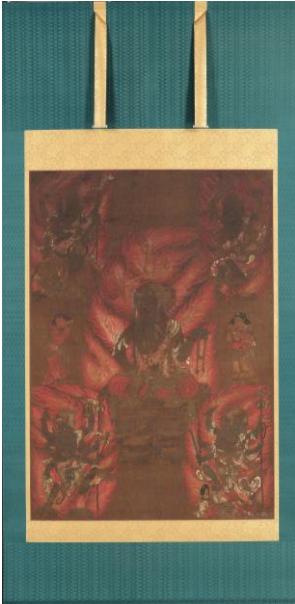
不動明王：平安時代（12世紀） 矜羯羅童子・制吒迦童子：江戸時代

奈良国立博物館

館蔵品修理（令和5年度）

施工 公益財団法人 美術院

よしのやま ふんぬそう したい
奈良の吉野山に伝來した三尊像。不動明王の氣品ある忿怒相や抑揚のある肢体、
着衣の優美な彩色・截金文様には平安時代後期の特色が認められる。彩色層の剥
らくど けんさく
落止めをおこない、不動明王の左肩部と台座の虫穴は樹脂で埋め、持物の縄索に
は樹脂を塗布して材質を強化した。



ごだいみょうおうぞう
重要文化財 五大明王像

絹本着色

鎌倉時代（13世紀）

奈良国立博物館

館蔵品修理（令和4年度～5年度）

施工 株式会社 文化財保存

こんがら せいたか
こんがら せいたか
矜羯羅・制吒迦の二童子を従える不動明王を中心として、その右下から時計回りに
ごうざんぜ ぐんだり だいいとく こんごう やしや
降三世、軍荼利、大威德、金剛夜叉の五尊を描く絵画で、五大明王を一図に描く稀少
な例である。絵具層の粉状化、剥離・剥落が著しく進行していたため、本格修理を行
った。

2

交通案内

近鉄奈良駅下車 徒歩約15分。

またはJR奈良・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

お問合せ

奈良国立博物館 Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50番地（奈良公園内）

電話：050-5542-8600（ハローダイヤル）

奈良国立博物館ウェブサイト <https://www.narahaku.go.jp/>

広報用画像・記事掲載に関するお問い合わせ

奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室

電話：0742-22-4463

【奈良国立博物館プレスリリース配信について】

下記にご登録いただくと、プレスリリースなどの情報を随時配信いたします。

登録URL

https://e.bme.jp/bm/p/f/tf.php?id=narahaku_pr&task=regist